

くすのきだより



令和7年2月3日
来迎寺小学校
臨時号

【令和6年度学校評価アンケート結果について】

この度は、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
評価結果と、それを踏まえた今後の教育活動方針をお知らせいたします。
これからも、本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

1 評価の対象について

下表のとおり、児童、保護者、教員を対象に実施しました。

児童	保護者	教員
自分の姿勢や取組の成果を評価します。	お子様の取組や成果を通して、学校活動の成果を評価します。	自分の姿勢や指導・支援の成果・状況について評価します。

2 評価結果の記載方法について

各質問項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」に当てはまると回答した場合を肯定的評価としました。肯定的評価の割合については各質問項目の行を参照してください。なお、()内は令和5年度との比較です。

児童、保護者、教員の三者とも肯定的評価が90%を超えた場合は、項目の先頭に◎、そうでない場合は、段階的に○や▲を付けました。

3 評価結果と分析

◎ 学校生活【肯定的評価 児童：94%(+2%) 保護者：96%(+1%) 教員：100%(±0%)】

児童と保護者の肯定的評価が昨年度より高いのは喜ばしいことです。学習や生活を通して、児童が「わかった」「できた」「楽しい」と思えたり、仲間との活動を通して満足感や達成感が得られたりした結果だと考えます。今後も、学校生活が楽しいと感じられる授業や生活となるよう、児童一人一人の特性にあった指導・支援や、よさを引き出す学級・学年経営を通して、仲間(絆)づくりを支えていきます。

○ 授業【肯定的評価 児童：89%(+3%) 保護者：90%(-2%) 教員：100%(±0%)】

児童の肯定的評価が昨年度より高くなりました。教員は、「分かるうれしさ」や「学ぶ楽しさ」が味わえる授業づくりを目指し、日々励んでいます。徐々にですが、そのことが成果として表れているのだと考えます。ただ、児童の肯定的評価は依然90%未満であり、保護者の肯定的評価は2%下がっています。児童一人一人の授業中の困り感に寄り添う丁寧な指導を心がけるとともに、児童が自ら「調べてみたい」と思うような授業づくりや、仲間と学ぶよさや楽しさを実感する協同的な「わくわく学びづくり」をよりいっそう目指します。

▲ **家庭学習** 【肯定的評価 児童：85%(±0%) 保護者：82%(-6%) 教員：84%(-1%)】

タブレットの利用促進など、児童の学び方が変容してきています。家庭学習については、夏休みや冬休みの宿題を含め、何をどのように進めていくのが効果的かを検討しています。保護者からは、「タブレットを使った宿題などがあれば楽しめるのでは」「宿題への取り組み方に自由度があってもよい」といった意見もあり、家庭学習についての保護者の考え方も変わってきています。学校で学習した内容を定着させたり、学んだことや興味のあることを主体的に学び深めたりできる家庭学習になるよう今後も検討していきます。

○ **あいさつ** 【肯定的評価 児童：87%(+6%) 保護者：95%(+3%) 教員：94%(-6%)】

特に、児童の肯定的評価が昨年度より高くなりました。これは、児童生活委員会のあいさつ運動や、6年児童による日常的なあいさつ運動の成果だと思えます。地域の方からは「毎朝、子どもの元気なあいさつでパワーをもらっている」「下校時にあいさつや素敵な言葉をかけてもらってうれしい」といったご意見をいただいています。今後も児童の自主的なあいさつ運動を支援したり、道徳の授業や学校生活を通してあいさつの気持ちよさや大切さを実感させたりすることで、すすんであいさつができる来小っ子を育てていきます。

◎ **命・人権** 【肯定的評価 児童：96%(+3%) 保護者：96%(-2%) 教員：100%(+4%)】

児童と教員の肯定的評価が昨年度より高くなりました。そして、三者ともに90%以上の高評価です。命や人権を大切にする意識が高められるよう、道徳の授業を中心に人権教育を推進してきた成果だと考えます。児童は成長の途中でまだまだ未熟であり、相手と衝突したり、トラブルを起こしたりします。しかし、起きてしまったときにどのように対処するか、何を学んでどう生かすかが大切だと考えます。些細なことも児童が成長するチャンスととらえて、児童が自分も相手も大切にできるよう支援していきます。本校の「いじめ防止対策基本方針」、「いじめ対策ナビ」はホームページでも紹介しています。児童一人一人が安心して学校に通える、保護者が安心して通わせられる学校を目指します。

▲ **体力づくり** 【肯定的評価 児童：82%(+4%) 保護者：95%(+1%) 教員：84%(+3%)】

三者ともに肯定的評価が昨年度より高くなりました。熱中症対策として放課の外遊びに制限をかけることもありましたが、日陰で過ごさせるなど、なるべく運動する機会を減らさないよう努めました。冬休み明けの寒さが厳しくなる時期でも、放課に元気よく外で遊ぶ児童が増えたように感じます。マラソン大会は終了しましたが、個人のペースで取り組むかけ足等の機会を増やしたり、外遊びが楽しくなる環境整備に取り組んだりして、児童の体力向上を目指します。



◎ **絆づくり** 【肯定的評価 児童：96%(-1%) 保護者：93%(-3%) 教員：100%(±0%)】

三者ともに肯定的評価が90%を超えていますが、児童と保護者の肯定的評価が昨年度より低くなりました。絆づくりは、アンケート項目「学校生活」や「授業」とも大きく関わりがあり、自己肯定感や自己有用感を高める上で中核をなす要素です。また、絆づくりは、教員主導で生まれるものではありません。児童の「絆づくり」が進むよう、教員は授業や生活の中で、児童が主体的に取り組む共同的な活動の場や機会を設けることに努めます。

◎ **防犯・防災** 【肯定的評価 児童：97%(±0%) 保護者：94%(-2%) 教員：96%(±0%)】

今年度も児童が問題解決に向けて主体的に考えたり論議したりする防災教室と、そこで考えた行動を確認する避難訓練をあわせた「行動する防災教育」を実施しました。避難訓練では、地震による迅速な避難や行方不明者の捜索を経験し、防犯訓練では不審者侵入による身を守る行動の練習や避難方法の確認を行いました。今後も、防犯・防災教育を充実させながら、警察や市安心安全課などからも指導を受け、有事の際に適切な対応ができるよう取り組んでいきます。

◎ **保護者・地域との連携** 【肯定的評価 児童：98%(+2%) 保護者：93%(±0%) 教員：96%(-4%)】

児童の評価結果が昨年度より高くなりました。児童は、保護者や地域の皆様に見守ってもらっていると感じています。今年度も学区教育懇談会を3回実施し、児童を中心に据えた活動について、保護者と地域、学校で話し合い、「地域と共にある学校」を目指してきました。来年度は「コミュニティ・スクール」が始まります。今後もよりいっそう保護者・地域・学校の情報共有と連携・協働を図っていきます。ご支援をよろしくお願いいたします。

◎ **なやみ相談** 【肯定的評価 児童：92%(-2%) 保護者：87%(-2%) 教員：94%(-2%)】

児童の肯定的評価が90%を超えていますので、相談した多くの児童が先生に話を聞いてもらえた、助けてもらえたと感じています。また、教員も児童の相談に丁寧に対応し、安心して児童が生活できるように努めたと考えます。しかし、三者とも昨年度より評価が下がっています。担任はもちろん、身近にいる職員が児童の言動や表情に気を配り、いつもと違った様子があれば声かけをする、教員間で情報を共有するといったきめ細かな支援体制で取り組みます。そして、必要な場合には、スクールカウンセラー（臨床心理士）や外部の支援機関にも加わっていただき、適切な対応に努めます。

◎ **情報発信** 【肯定的評価 保護者：93%(+1%)】

ホームページの更新やお便りを通して学校の様子が保護者や地域の方に伝わるようにしています。現在、PTAと協働してホームページ等の充実を検討しています。今後も、保護者の役に立つよう改善しながら、適切に情報発信を行っていきます。ぜひご覧ください。

※その他いただいたご意見を紹介します

- ・マラソン大会がなくなり子供の様子を見る機会が減ったので、授業参観の日数を今年度より増やしてほしい。
- ・授業参観が1時間だけなので、それぞれの子供の様子が少ししか見られない。

→月1回は、保護者が学校に来られる機会（行事や公開日等）を設けていきます。また、年に数回は授業参観の時間を数時間（例えば9時から12時までなど）に広げます。

- ・先日のマラソン大会の際、撮影は禁止だったと思いますが、三脚まで立てて撮影している親御さんがいました。その場で注意を促すなどもされていなかったもので、禁止であることを徹底された方が良いと思います。禁止されている行為を親が堂々としているようでは子供に示しもつかないと思います。また、知人のSNSにもマラソン大会の写真がアップされていました。さすがに自身の子ども以外にはモザイクがかかっていますが、禁止であることを知らないだけか、知ってかは分かりませんが…。

→行事の前に絆メールで連絡し、保護者に周知を図れるようにすすめていきます。

- ・夏休みの宿題が多過ぎます。他の市でもやっているように、自由研究、読書感想文、ポスターは自由参加や選択制にさせていただきたいです。仕事をしている親御さんが多くなってきているので、子供の宿題まで手が回りません。自由研究は一緒にやらないと難しいので無くして欲しいです。

→夏休みの宿題に関しては、作文は枚数指定をなくす、自由研究については本人が興味のある教科を選ぶ等、より適切な内容や量になるように検討していきます。

- ・保護者の見学が可能な行事なのかどうか、直前の学校からの案内でしか知る事が出来ず、職場の休みを取れないこともありました。あらかじめ年間計画の段階で印をつけるなどの情報提供があると助かります。検討をお願いします。

→4月に配付する年間行事予定（PTA総会要項）に、保護者の見学可能な行事には印をつけ、早めに情報提供をします。

